

4年ぶりに復活！長良川・夏の風物詩

ぎふ長良川花火大会 開催します

8月11日(金・祝)

19:30~20:35 予定

長良川の花火は、岐阜市が誇る風光明媚な景勝地、長良川河畔で行われる「夏の風物詩」として歴史と伝統を重ね、多くの人々の心の中に忘れがたいそれぞれの思い出を刻んできました。

しかし2020年以降は、東京オリンピックの開催による警備員の不足や、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響によって、開催中止の年が続いています。

そんな中、昨年5月に行われた岐阜市民意識調査では、岐阜市の魅力として、第1位の岐阜城・金華山に次ぐ第2位にランクインしており、多くの市民が長良川の花火を誇りに思っていると同時に、その再開を望んでいることがわかりました。

「岐阜市の誇りである長良川の花火を復活させたい！」
その強い思いを胸に、本年8月11日(金・祝)に「ぎふ長良川花火大会」を開催します。

テーマ

「平和に願いを込めて」

長良川の花火大会は、岐阜新聞社主催により終戦の翌年1946年に第1回大会が開催されました。戦後復興と平和への願いが込められたこの花火は、多くの人々に希望を与えました。

その後、中日新聞社主催の大会も始まり、全国でも非常にめずらしい2週連続で同じ場所にて花火大会が行われる形となり、その2つの大会を合わせ「長良川の花火」と称して、岐阜市民のみならず多くの観光客に親しまれてきました。

大会の復活に際して、第1回のテーマを「平和に願いを込めて」としました。原点に立ち返るとともに、コロナ禍やウクライナ情勢等の暗いニュースが続く中、花火によって希望をもたらしたいという思いからです。

開催理念

「笑顔をつなげる 未来につなげる みんなで支える」

花火大会復活にあたり、岐阜市、岐阜商工会議所と中日新聞社、岐阜新聞社により実行委員会を設立。官民一体の新しい枠組みのもと、2つの大会を1つの大会として発展的にリニューアルします。大会名は「ぎふ長良川花火大会」とし、オール岐阜での一大イベントとして実行します。今回は初の試みとして花火応援席を設置し、老若男女問わず多くの人々に安全安心かつ快適な観覧環境を提供するとともに、今後持続的に開催できるよう、観覧者の皆様にも応援席の購入等を通して運営を支え

ていただく形をとりました。

「笑顔をつなげる 未来につなげる みんなで支える」

ぎふ長良川花火大会は、継続、永続できる新たな花火大会を目指します。



名称 第1回ぎふ長良川花火大会
主催 ぎふ長良川花火大会実行委員会
日時 8月11日(金・祝) 19:30~20:35 予定
※小雨決行。ただし、荒天・河川増水の場合は8月19日(土)に延期
※当日の天候等により打上時間に変更になることもあります。
※8月19日が開催できなかった際の再延期はなし
会場 岐阜市長良川河畔、長良橋下流～金華橋上流
(川の北側が観覧エリア、川の南側中州が打上げ会場)
問い合わせ ハローダイヤル(9:00~20:00)
050-5542-8600



チケットぴあ

詳細は大会HP [ぎふ長良川花火大会](#) 検索 [花火応援席の購入はチケットぴあのサイトをご確認ください。](#)

Bright Again! Gifu